

ポラス 第31回技能グランプリ 建築大工で2名入賞

ポラスグループは、「第31回技能グランプリ」の建築大工職種において、2名が入賞。ポラスグループでは、7大会連続入賞となった。

技能グランプリは、特級、一級および単一等級の技能士の技能の一層の

向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重の醸成に資することを目指し、2年に1度開催されているもの。全国から機械組立て、旋盤、かわらぶき、和裁、日本料理など全28種類に合計344名が参加。

建築大工職種では25名が「正五角形小屋組」の課題で技術を競い合った結果、ポラスハウジング協同組合の隅悠多氏が銀賞、ポラスハウジング千葉の山田一貴氏が銅賞を受賞した。

3大会連続での入賞となった隅悠多氏は「少し悔しいですが、悔いが残らない作品を作れたので良かったと思います。今

後はこの経験を生かしてお客様に喜んでいただける住宅づくりに取り組んでいきます」

山田一貴氏は「前回出場時は入賞できずに悔しい思いをしたので、

今回入賞出来て素直にうれしいです。ただ、ミスもあったので、次回はさらに練習を積んで、より上を目指した

「と思います」とそれぞれ受賞の喜びを語った。

(左)隅悠多氏、(右)山田一貴氏

